

## 入試期間 その1

令和2年度入学者選抜前期試験が始まります。3月3日の午後から準備を始め、会場や本部設営となり、試験期間に備えます。

選抜試験自体は、3月4日が学力検査。3月5日が特色選抜の実技等の検査です。その後、3月6日から採点が始まり、7日8日の週休日を挟んで、9日まで採点が続きます。事務的な資料作成や様々な点検作業を経て、3月16日の合格発表となります。合格発表は、12時以降です。

毎年のことですが、この期間の学校の警備には万全を期しています。さらには様々な配慮をめぐらし、生徒たちの心を支えるような思いをいたるところにちりばめて、実力を発揮していただけて、高校生活への先駆けにしてほしいと全力で対処しています。

合格者オリエンテーションは、合格発表後に行いますし、4月になってからの教科オリエンテーション指導もいつものように考えています。

その第一歩となる入学者選抜に向け、受験生は健康に留意して頑張してほしいと心から願います。

自分の時を思い出すと、7時ごろに平駅について、保護者達と受験する学校ごとにそれぞれ歩いて学校に向かったことを思い出します。八幡宮にお参りし、学校の講堂(昔は今の南体育館は講堂でした。)に入って、各教室に向かい、334の番号の席に座り、受験しました。周りに、いろいろな学校の生徒がおり、お昼休みぐらいには、だんだんと心が落ち着いてきたのを思い出します。終わった後は、皆で、今のラトブのあたりにあった蕎麦屋でそばを食べさせてもらってから帰りました。

あの頃は、中学校を卒業してからの受験だったので、次の日は、朝から一日、自己採点でした。あの頃は、毎年、最低点が200点を上回るのが当たり前であったので、合格最低点がどれくらいになるかが合格のカギでした。自己採点が、250点満点で、225点を超えていれば大丈夫であるとわかっていたので、220点ぐらいだとそわそわしたのを思い出します。

実際入学後に、合格最低点が210点ぐらいであったと聞いて、危なかったとか、考え通りだったと、友達と話したのも思い出します。

二つ下の弟たちの受験の年は、最低点が221点だったと聞いたこともあるので、非常に大変な時代であったと思います。浪人生が200人を超えていました。

10クラス480人の3学年がそろそろ全校集会は圧巻でした。